

社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)の成果目標(下水道事業)

■計画名

公衆衛生の向上と豊かな水環境を創造する下水道事業

■計画の期間

平成22年度～平成26年度(5年間)

■計画目標

本県の特つ豊かな水環境を保全し後世に引き継ぐために、県下水道が一体となった施設整備や、既存の施設の計画的な修繕・更新を行い、安全で安心な生活基盤の確保を図ると共に、都市の持続的かつ健全な発展と公衆衛生の向上に寄与する

■計画の成果目標(定量的指数)

・県下の下水道処理人口普及率の増加
(各市町村住民基本台帳人口のうち、下水道の供用告示済区域に住居している人口の割合)

・下水道による都市浸水対策の達成率の増加
(都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合)

■指標の定義

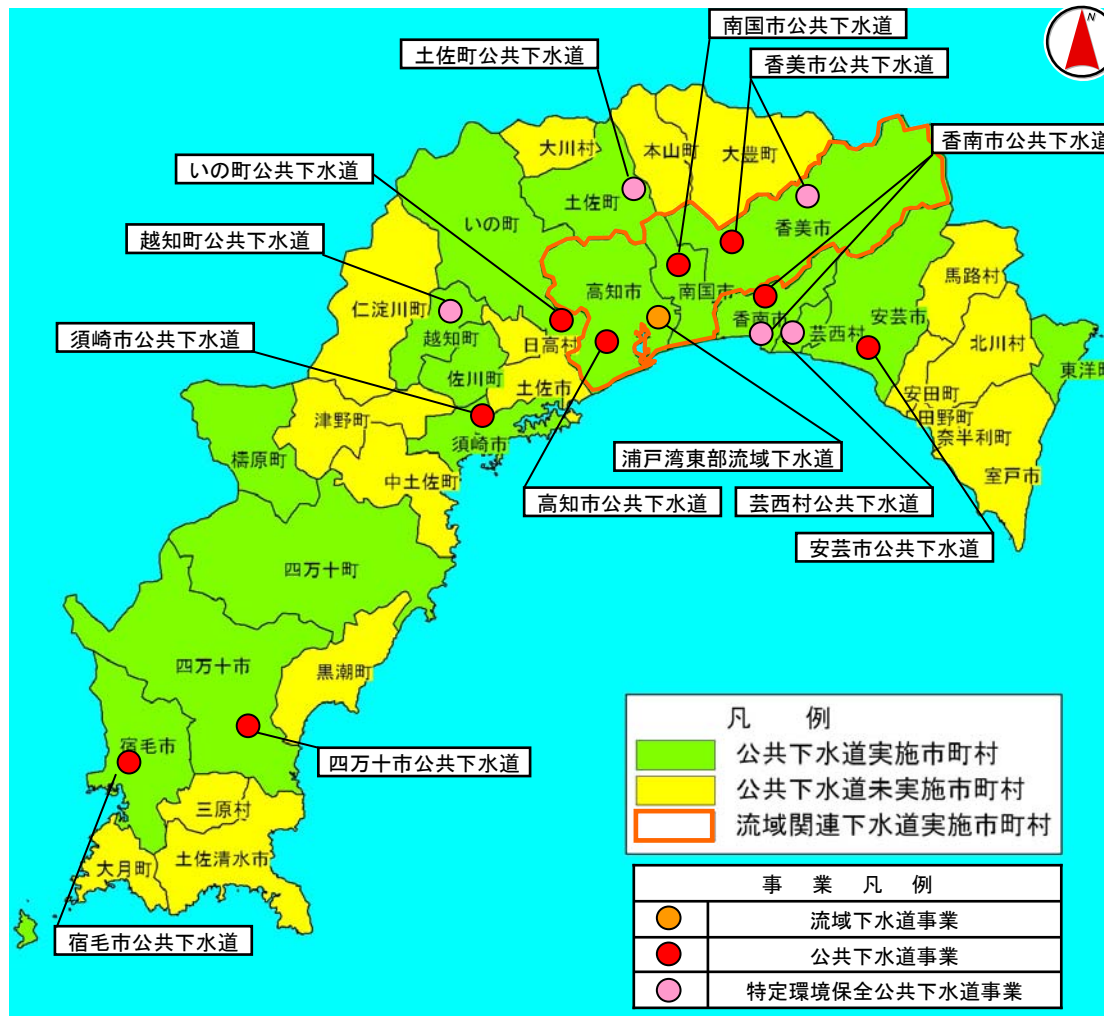
下水道普及率(%) = (下水道供用告示済区域に住居している人口 / 住民基本台帳人口)

下水道による都市浸水達成率(%) = (概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)) / (都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))

■指標の現況値、目標値(%)

	当初現況値	中間目標値	最終目標値
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)
下水道普及率	31.7%	33.1%	34.0%
都市浸水達成率	47.2%	50.3%	52.2%

■事業箇所図



事前評価の結果

政策分野	水の安全・安心基盤整備
P 番号	3
計画名称	公衆衛生の向上と豊かな水環境を創造する下水道事業
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）
交付対象	高知県、高知市、南国市、須崎市、四万十市、香南市、香美市、芸西村、土佐町、いの町、越知町、安芸市

目標妥当性	<p>高知県は、都道府県構想に基づき下水道の普及促進に努めてきたが、平成21年度末の下水道普及率が31.7%となっており、今後もより一層の普及促進が必要となる。</p> <p>また、高知県は平均年間降雨が2,561mm（S54～H20）で（全国平均（1,617mm）の約1.6倍）全国有数の多雨地帯であり、浸水被害も多発しているが、平成21年度末の都市浸水対策達成率が47.2%となっており、浸水被害に悩む地区も少なくない。</p> <p>以上のような高知県の課題を踏まえた目標が設定されている。</p>
整備計画の効果及び効率性	<p>下水道法に定められた認可を受けた区域を鋭意整備することにより、下水道普及率が2.3ポイント、都市浸水達成率が5.0ポイント向上し、公衆衛生の向上と公共水域の水質保全及び都市浸水被害の軽減が図れる。</p>
整備計画の実現性	<p>本計画は下水道法に定められた認可を受けた区域の計画となっている。</p> <p>この認可については、優先度の高い区域から5～7年間に財政、執行能力等の点で整備可能な区域について計画されている。また、認可・変更認可を受けようとするときは、あらかじめ告示し、公衆の縦覧に供し、利害関係人に意見を申し出る機会を取っている。</p> <p>上記から、本計画は実現可能性が高い。</p>